

国・県指定文化財

○(三) 史跡宗太夫間歩

相川金銀山は、大立堅坑を中心として東西3,000メートル、南北600メートルの範囲に分布し、鉱石を採掘した坑道の総延長は400キロメートルに及ぶといわれ、その距離は相川と東京間にあたり、坑内は、水平坑道・堅坑・連絡坑道・狸穴などが網の目のよう掘られ、中には深さ667メートル(海面下530メートル)に達する坑道もあり、一般的に高さ2.4メートル×幅1.8



▲現在の宗太夫間歩の坑口
入口の上に鉱山の神である「大山祇」の額があります。



▲江戸時代の絵図に描かれた釜ノ口(坑口)の様子

メートの坑道の場合、タガネとツチだけで掘れる1日平均の量は、堅い部分で9センチ、軟らかい部分で19センチといわれており、400年以上かけて400キロメートルもの坑道が掘られたことは、金銀を追い求めた人々の飽くなき情熱を感じさせます。

こうした坑口(坑道の入口)の数は、金銀山の全盛期において300カ所もあったといわれ、ここから産出した金銀が徳川幕府の財政を支え、国内最大の金山として日本を代表する存在となりました。平成元年(1989)に佐渡鉱山が操業停止となり、株式会社ゴルフデン佐渡によって、旧坑道を活用した観光坑道が整備され、ロボットを使用した江戸

時代の金銀採掘の様子が再現され、平成6年(1994)には宗太夫間歩内部の117・5メートル、515平方メートルが国の史跡に指定されました。

○史跡宗太夫間歩

宗太夫間歩は、江戸時代に盛んに金銀の採掘が行われた「割間歩」と呼ばれた鉱区の一つにあり、相川金銀山で最大の鉱脈とされる青盤脈の西端、大佐渡スカイラインに面した場所にあります。

「宗太夫」という間歩の名前から岩下惣太夫という人物が関係していたと考えられます。この人物は、17世紀初頭の慶長年間(1596〜1615)に、相川金銀山の開発に活躍した人で、当時の記録である『川上家文書』にもよくその名前が出てきています。

間歩は、坑口の高さが約3メートル、幅2メートルで、全体として大型の斜坑道であり、ゆるやかに傾斜して海面下まで延びています。このような大きな坑道は、鉱石の運搬や湧き水の排水作業を考え、効率的に採掘ができるように造られたもので、元禄年間初期(1690年代)には、萩原重秀奉行が進めた鉱山開発の頃の主要な間歩の一つでした。坑道内には、部分的に断面が「将棋の駒

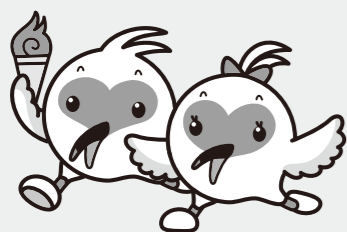


▲江戸時代の絵図に描かれた坑内の様子

「煙貫」と呼ばれる空気坑、長さ60メートルに及ぶ斜坑、「釜ノ口」と呼ばれる坑口と丸太で飾られた坑口飾りなど、江戸時代の間歩の特徴を今にとどめています。

また、観光坑道に入ると空気が冷たく感じられますが、これとは逆に坑内のロボットの中には、軽装のものが見られます。これは、江戸時代の坑内は空気の循環が悪く、坑内作業や火を使った照明器具により坑内の空気がよどんでいたり、また地熱によって暑かったため、場所によっては気温が30度以上あったといわれており、鉱山が活動していた頃の現在の違いを示しています。

世界遺産・文化振興課
☎27-4170



トキめき新潟国体

平成21年開催 トキはなて 君の力を 大空へ 第64回国民体育大会 No.14

★トッキッキもお手伝い

「春の不法投棄ストップ県民ウィークにいがた」スタートキャンペーンの一環として5月30日(ゴミゼロの日)に「佐渡を美しくする会」の呼びかけで、小中学生やボランティアによる島内一斉ゴミ・空き缶拾いを実施しました。トッキッキもお手伝いをして両津小学校の子どもたちと一緒に空き缶拾いを行いました。

佐渡汽船では来島した観光客にキャンペーンリーフレットを配布し、協力をお願いしました。また、国体の佐渡市開催もアピールしました。美しい佐渡により多くの国体選手を迎えたいものです。



★グラウンド・ゴルフの県大会が小木地区で開催されました



平成21年のトキめき新潟国体で「デモンストレーションとしてのスポーツ行事」の1つとして開催されるグラウンド・ゴルフの県大会が、快晴の6月3日(日)に小木・城山公園グラウンド・ゴルフコースで開催されました。

この大会は、「第19回新潟県スポーツフェスティバル」のグラウンド・ゴルフ大会で、県内の地区予選を勝ち抜いた361名の選手が集い、団体戦・個人戦を行いました。

島内からも地区予選を勝ち抜いた小木チーム・金井チームが参戦しました。地元選手は2年後の国体出場を目指し、練習に励んでいるそうです。また、島外チームには、のぼり旗や横断幕を設置し、トキめき新潟国体での再会を願い、風光明媚なこのコースでの熱戦を約束しました。



★北信越BCリーグ 新潟アルビレックスBCホームゲーム 佐渡大会が開催されます

全国で2番目のプロ野球独立リーグとして誕生した北信越BC(ベースボール・チャレンジ)リーグの新潟アルビレックス・ベースボール・クラブのホームゲームを、8月5日(日)にサン・スポーツランド畑野野球場を会場に「トキめき新潟国体開催記念事業」の一環として開催します。対戦相手は、石川ミリオンスターズ。

迫力あるプレーを観覧する絶好のチャンスです。多くの方のご来場をお待ちしています。

詳細につきましては、新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ 運営部 ☎025-247-4155にお問い合わせください。

ホームページアドレス <http://www.niigata-albirex-bc.jp/>



(写真提供:新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ)

市民ボランティア(広報ボランティア)を募集します

佐渡市実行委員会では、国体のPR活動(トッキッキの着ぐるみでの活動やチラシ・グッズの配布等)にご協力いただけるボランティアを募集します。詳しくは、佐渡市国体ホームページや募集用チラシ等をご覧ください。

国体ホームページアドレス

http://sougo.city.sado.niigata.jp/kikaku/kokutai/kokutai_index.jsp

◇市役所 企画振興課 国体推進室 ☎63-4152 FAX63-5125

